

2010年3月期 第3四半期決算短信添付資料（決算説明会資料）

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



2010年3月期 第3四半期累計実績



- 主に国内たばこ販売数量減、海外たばこ事業における為替影響により減収減益
- 国内たばこ事業は、趨勢減がやや加速
- 海外たばこ事業は、単価上昇効果により為替中立ベース*ではドルベースEBITDA 9.0%成長

*前年度の為替レートを適用した場合

3



全社業績 : 2010年3月期 第3四半期累計実績

(単位:億円)	2008 4-12月期	2009 4-12月期	増減		2008 4-12月期	2009 4-12月期	増減
税抜売上高*	17,641	14,961	-15.2%				
EBITDA	5,413	4,257	-21.4%				
営業利益	3,296	2,525	-23.4%	<参考:のれん償却前>			
経常利益	2,690	2,156	-19.9%	営業利益**	4,101	3,269	-20.3%
純利益	1,314	1,069	-18.7%	経常利益**	3,494	2,900	-17.0%
				純利益**	2,119	1,813	-14.4%

- 国内たばこ販売数量減、海外たばこ事業における為替影響により売上高15.2%減、EBITDA21.4%減
- 経常利益、純利益は、営業外損益および特別損益の改善により減少幅が縮小

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他 及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除
**のれん償却影響除き

4



国内たばこ事業 : Executive Summary

- 主に販売数量減により減収減益
- 趨勢減がやや加速
- 4-12月期のJTシェアは、前年同期比同水準の65.0%
- 注カブランド*のシェアは堅調に成長

*マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ

5

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業 : 2010年3月期 第3四半期累計実績

(単位: 億本, 億円)	2008 4-12月期	2009 4-12月期	増減
総販売数量	1,236	1,174	-5.0%
税抜売上高*	5,017	4,764	-5.1%
EBITDA	2,132	2,051	-3.8%
営業利益	1,522	1,639	+7.7%

- 販売数量の減少に加え、原材料費の増加等により減収・減益

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

6

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業：趨勢減がやや加速

《2009年度 数量減推移》

	4-9月期	4-12月期	当初見込
対前年の増減	△5.2%	△5.0%	△4.6%
08年度taspo導入前 在庫積み増し影響(1)	△0.3%程度	-	-
taspoに因る 購買機会の損失影響(2)	△0.5%程度	△0.4%程度	△0.3%程度
趨勢減	△4.4%程度	△4.6%程度	△4.3%程度

(1)一時的要因であり、通年では影響が解消する

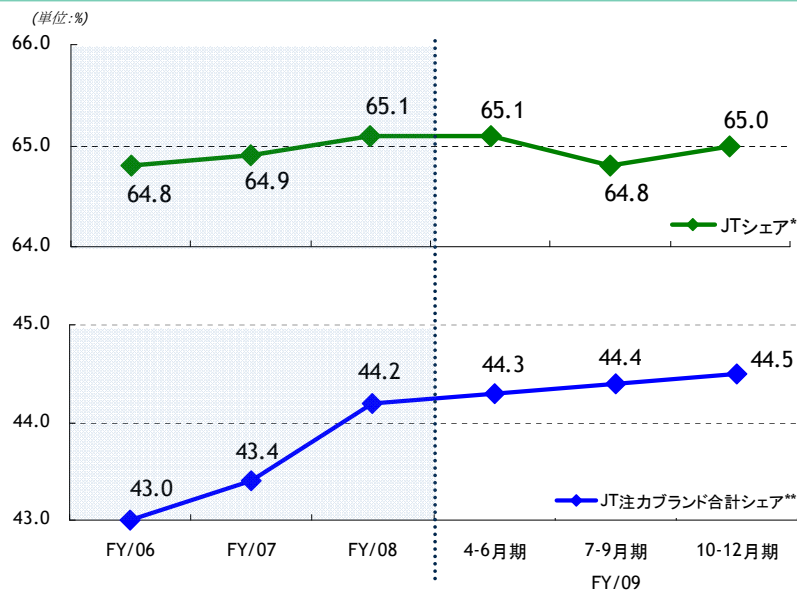
(2)通年ベースでは影響は小さくなっていく

- taspoに因る特殊要因は想定通り推移
- 厳しい経済環境・増税アナウンス影響により趨勢減がやや加速

7



国内たばこ事業：シェア動向



FY/09 4-12月期

JTシェア* 65.0%
注カブランド合計シェア** 44.4%

JT注カブランド



- 10-12月期のJTシェアは7-9月期比較で0.2ppt回復
- 対面販路での効果的な販促活動、新製品投入により注カブランドは堅調に推移

*新ベース=JTオリジナルブランド+JTの国内向け製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)
**マイルドセブン、セブンスター、ピアノッシモ

8



- 為替影響および販売数量減により減収減益
- イラン、ウクライナ、フィリピン等での特殊要因により
総販売数量は3.7%減少、GFB販売数量は1.7%減少
- 単価上昇効果が成長ドライバーとなり為替中立ベース*では、
税売上高+5.7%、EBITDA+9.0%

*前年度の為替レートを使用した場合

9



海外たばこ事業 : 2010年3月期 第3四半期累計実績

(単位: 億本, 百万US\$)	2008	2009	増減	【為替レート】			
	1-9月期	1-9月期		2008年度 1-9月期 期中平均レート	2009年度 1-9月期 期中平均レート	対前年比較	
総販売数量*	3,381	3,256	-3.7%				
GFB販売数量	1,855	1,824	-1.7%				
税売上高**	8,043	7,028	-12.6%				
千本当税売上高*** (US\$)	24.4	21.8	-10.7%	RUB/\$	24.05	32.54	26.1%安
\$ベースEBITDA****	2,950	2,354	-20.2%	GBP/\$	0.51	0.66	23.1%安
円ベースEBITDA***** (億円)	2,973	2,029	-31.7%	EUR/\$	0.66	0.74	11.4%安
【為替中立ベース】				JPY/\$	105.84	94.96	11.5%高
税売上高**	8,043	8,500	+5.7%				
千本当税売上高*** (US\$)	24.4	26.3	+8.0%				
\$ベースEBITDA****	2,950	3,214	+9.0%				

- トルコ、UK、イタリア、フランス等での販売数量は堅調に推移
- 但し、イラン、ウクライナ、フィリピンでの特殊要因等により販売数量が減少
- 為替影響により減収減益となるも、主に単価上昇効果により為替中立ベースでは、EBITDA+9.0%

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

****JTへのロイヤリティ支払い前

*****JTへのロイヤリティ支払い後



医薬事業：2010年3月期 第3四半期累計実績

臨床開発品目(2010年2月9日現在)

(単位:億円)	2008 4-12月期	2009 4-12月期	増減
売上高	481	343	-137
EBITDA	85	△62	-148
営業利益	58	△91	-149

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内: Phase2	ロシュ社へ導出 (Phase 3)
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2	
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内: Phase1	ギリアド・サイエンシズ社 へ導出 (Phase 3)
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外: Phase2	
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2	米国メルク社へ導出
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1	
JTT-654(経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase2	
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外: Phase1	
JTT-751(経口)	高リン血症	国内: Phase2	ケリックス・パイオファーマ シューティカリス社から 導入
JTK-853(経口)	C型肝炎	海外: Phase1	

JTK-853: 海外で臨床試験開始

- 鳥居薬品は増収・増益も、前年同期に契約一時金収入やマイルストーン収入があった事により減収・減益
- 「JTK-853」新規臨床入り

11



食品事業：2010年3月期 第3四半期累計実績

(単位:億円)	2008 4-12月期	2009 4-12月期	増減
売上高	3,477	3,032	-445
EBITDA※	57	140	+82
営業利益	△78	△73	+4

<飲料事業>



<加工食品・調味料事業>
(テーブルマークグループ)



※リース会計基準の変更影響を調整したEBITDA
08年4-12月期: 133億円⇒09年4-12月期: 140億円(対前年増益)

- チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により減収、EBITDAでは、リース会計基準の変更影響を除いたベースで7億円の増益

12



2010年3月期 業績予想



業績予想 : Executive Summary

- 主に海外たばこ事業での販売数量の上ブレおよび為替影響により
全社売上高、利益見込を中間時見込から上方修正
- 海外たばこ事業の為替中立*ベースのEBITDA見込は14.9%の2桁成長
- 国内たばこ事業は総需要の趨勢減がやや加速している事により販売数量△5億本、売上高を△30億円下方修正も、コスト削減によりEBITDA変更なし

2010年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減率 (c-a)/a	対中間時見込 増減 c-b
	実績 a	中間時見込 b	修正見込 c		
税抜売上高*	22,432	19,740	19,820	-11.6%	+80
EBITDA	6,462	5,050	5,140	-20.5%	+90
営業利益	3,638	2,720	2,830	-22.2%	+110
経常利益	3,075	2,350	2,460	-20.0%	+110
当期純利益	1,234	1,080	1,220	-1.1%	+140
【のれん償却影響前】					
当期純利益**	2,289		2,190	-4.3%	
EPS**	23,894円55銭		22,859円91銭	-4.3%	
1株当たり配当金(円)	5,400		5,600	+3.7%	
配当性向(%)**	22.6		24.5	+8.4%	

➤ 主に海外たばこ事業の販売数量の見直しおよび為替影響により売上、利益指標を上方修正

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除
**のれん償却前

15



国内たばこ事業：2010年3月期 業績予想

(単位: 億本, 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減率 (c-a)/a	対中間時見込 増減 c-b
	実績 a	中間時見込 b	修正見込 c		
JT販売数量	1,599	1,525	1,520	-5.0%	-5
税抜売上高*	6,488	6,190	6,160	-5.1%	-30
EBITDA	2,722	2,460	2,460	-9.7%	0
営業利益	1,882	1,900	1,910	+1.5%	+10

- 総需要の趨勢減がやや加速していることにより販売数量、売上高を下方修正
- EBITDAはコスト削減努力により中間時見込から変更なし

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

16



海外たばこ事業：2010年3月期 業績予想

<速報値 1-12月>

	2008年度	2009年度		対前年実績	対中間時見込
	実績 a	中間時見込 b	修正見込 c	増減率 (c-a)/a	増減 c-b
(単位: 億円, 億円)					
総販売数量*	4,459	4,320	4,349	-2.5%	+29
GFB販売数量	2,455	2,420	2,434	-0.9%	+14
税売上高**	10,808	8,820	9,060	-16.2%	+240
EBITDA***	3,379	2,400	2,490	-26.3%	+90
JPY/\$	103.48	93.00	93.65	10.5%高	+0.65
(単位: 百万US\$)					
税売上高**	10,445	9,480	9,682	-7.3%	+202
為替中立ベース税売上高**	10,445	11,090	11,192	+7.2%	+102
EBITDA****	3,452	2,880	2,964	-14.1%	+84
為替中立ベースEBITDA****	3,452	3,900	3,966	+14.9%	+66

- 販売数量の上ブレおよびコスト減により為替中立ベースの税売上高、EBITDAは7.2%、14.9%成長の見込
- 現地通貨対US\$の為替影響は中間時の前提より若干有利に推移
- 円対US\$も若干有利に動き円ベースEBITDAは2,490億円の見込

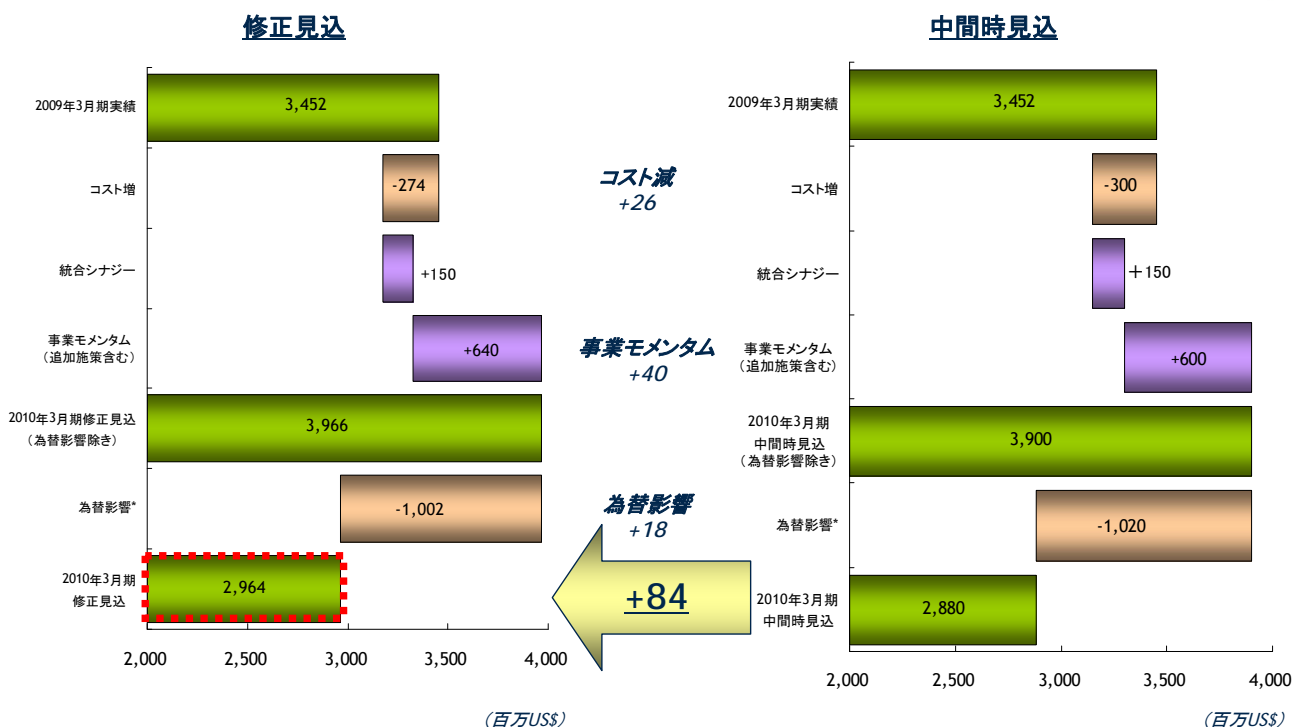
*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
 **物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 ***JTへのロイヤリティ支払い後

17

****JTへのロイヤリティ支払い前



海外たばこ事業：\$ベースEBITDA見込を84百万US\$上方修正



* USドルと各現地通貨との間の為替影響

18



医薬事業：2010年3月期 業績予想

(単位:億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減 c-a	対中間時見込 増減 c-b
	実績 a	中間時見込 b	修正見込 c		
売上高	567	440	445	-122	+5
EBITDA	48	△ 110	△ 105	-153	+5
営業利益	10	△ 150	△ 145	-155	+5

- 既導出品の開発の進展によるマイルストーン収入等により売上高利益を小幅上方修正

19

ひとの
ときを、
想う。 JT

食品事業：2010年3月期 業績予想

(単位:億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減 c-a	対中間時見込 増減 c-b
	実績 a	中間時見込 b	修正見込 c		
売上高	4,359	4,090	3,950	-409	-140
EBITDA	170	155	150	-20	-5
営業利益	△ 114	△ 125	△ 130	-15	-5

KATOKICHI 2010.01.01 TableMark

*2010年1月より



- 消費低迷の長期化、水産市況低迷の影響等を織り込み、売上高を140億円下方修正
- EBITDAについては、主力商品への更なる注力による収益構造改善等により微減の見込
- 加ト吉が、2010年1月より、社名を「テーブルマーク株式会社」に変更

20

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業：「JT-11」の中期目標 「2009年度EBITDA水準の維持を目指す」に変更なし

2010年度 販売数量見通し：

- 増税後には通年ペースで20%を上回る大幅な需要減を予想
- 趨勢減、値上げ影響、値上げ前の仮需要等を勘案し、現在計画を策定中

価格戦略：

- 銘柄毎の小売価格は、各ブランドの競争力、各銘柄のセグメントの動向、経済情勢等を勘案し決定

EBITDAの見込：

- 2010年は、値上げ前の仮需分について価格効果が取れないことから、EBITDA水準は、2009年を下回る見込
- なお、「JT-11」の目標である、「2009年度のEBITDA水準を2011年度で維持」の達成を目指すことについては変更しない

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

【参考資料】

2010年3月期 第3四半期実績 および 2010年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

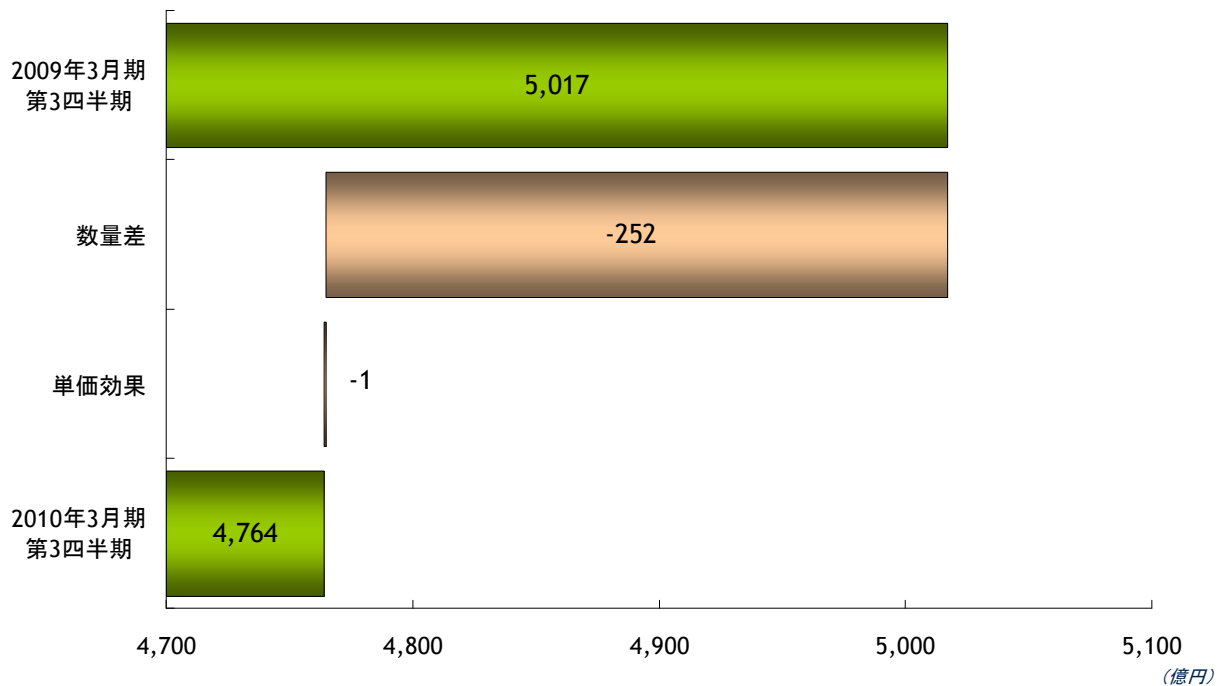
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2010年3月期 第3四半期 累計実績

国内たばこ事業 税抜売上高*



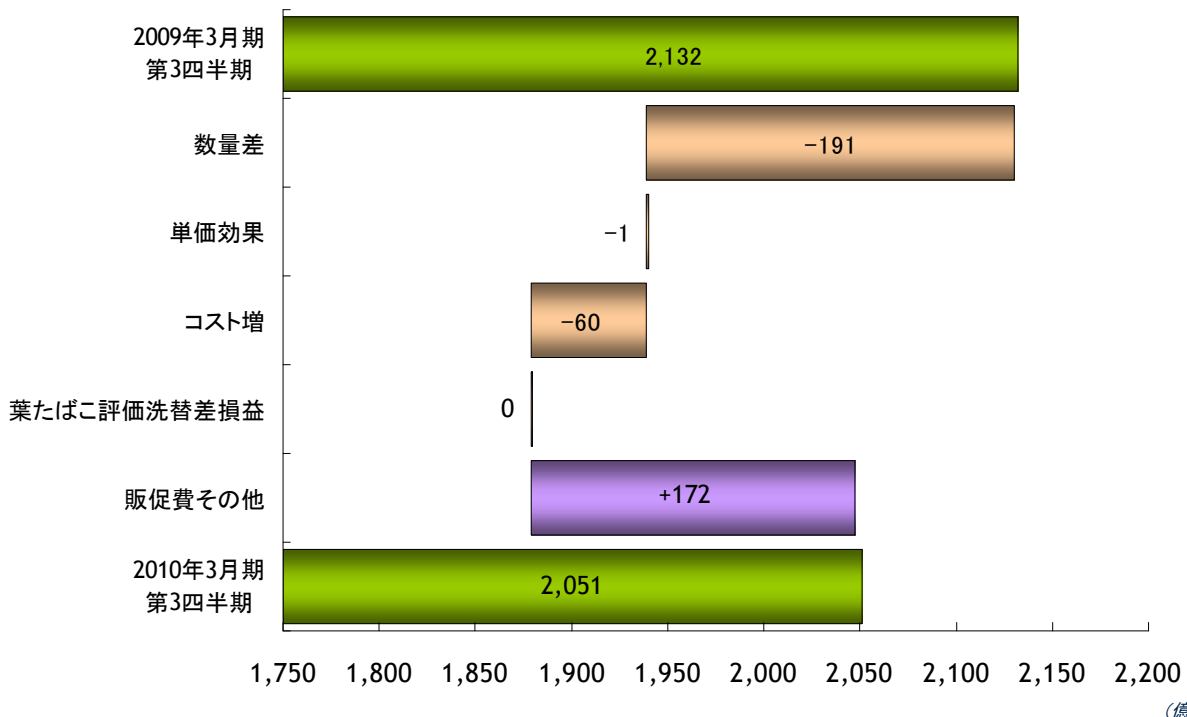
* 輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

25



2010年3月期 第3四半期 累計実績

国内たばこ事業 EBITDA

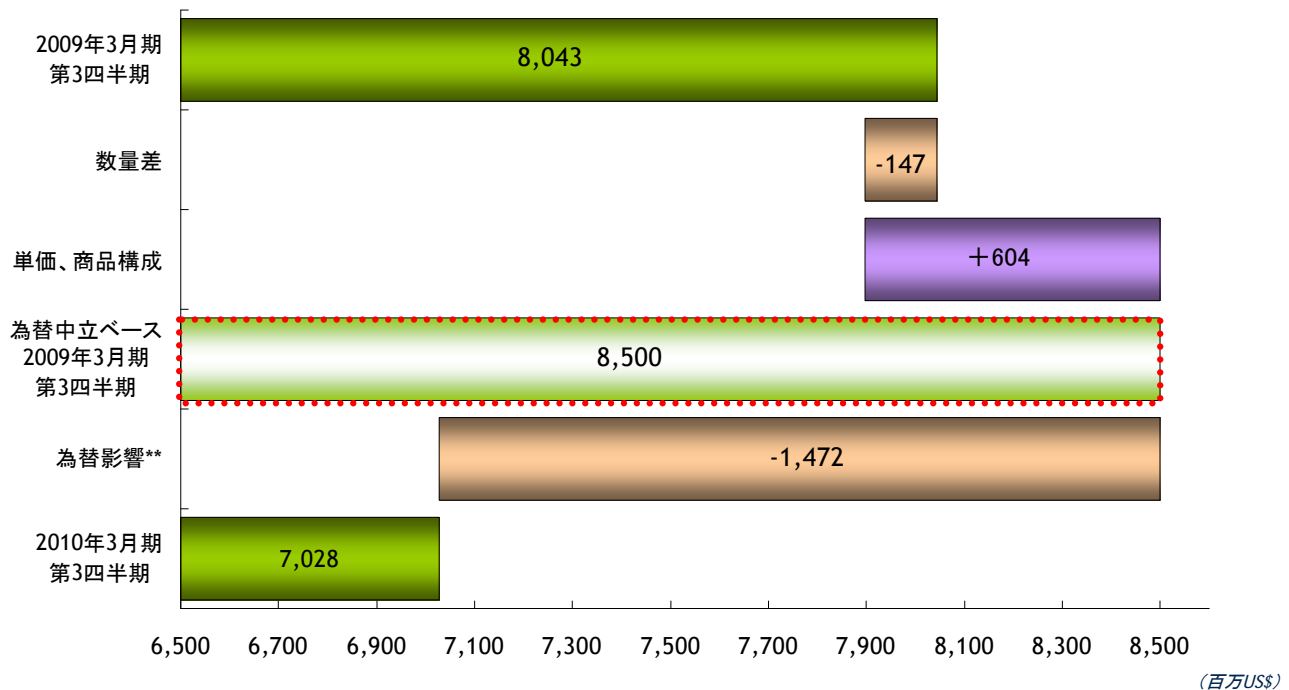


26



2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 海外たばこ事業 税抜売上高*



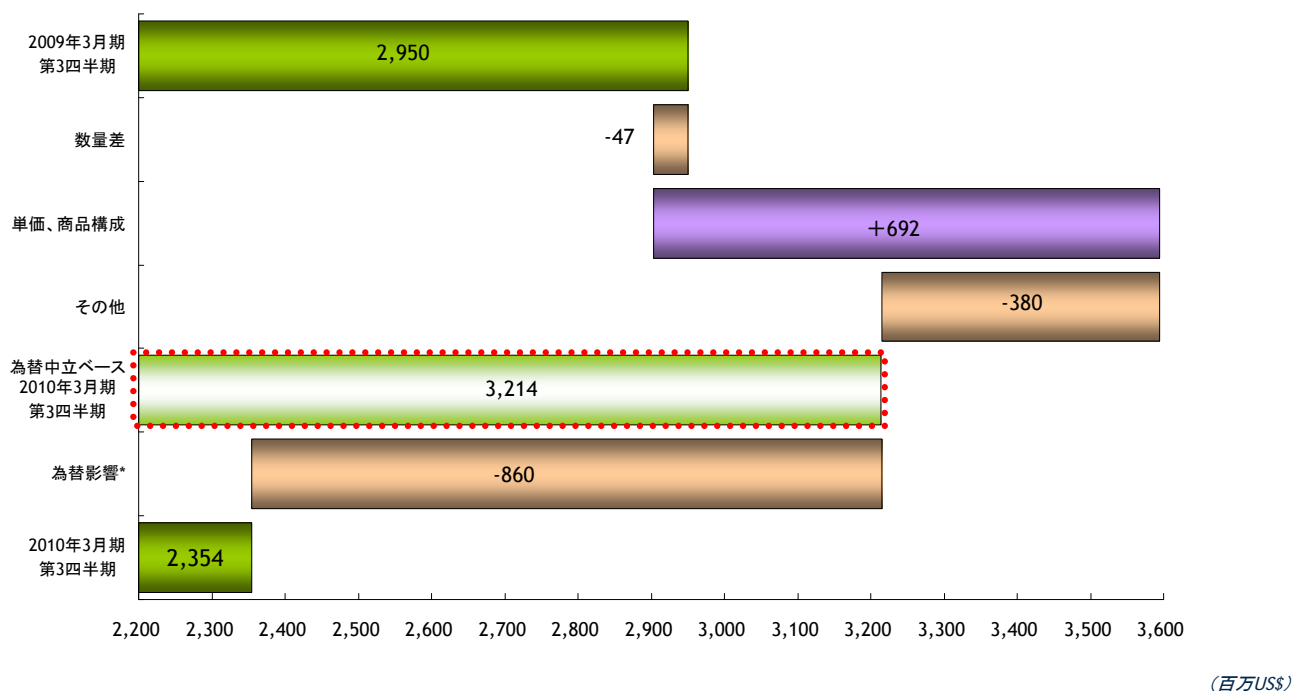
* 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 ** USドルと各現地通貨との間の為替影響

27



2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)



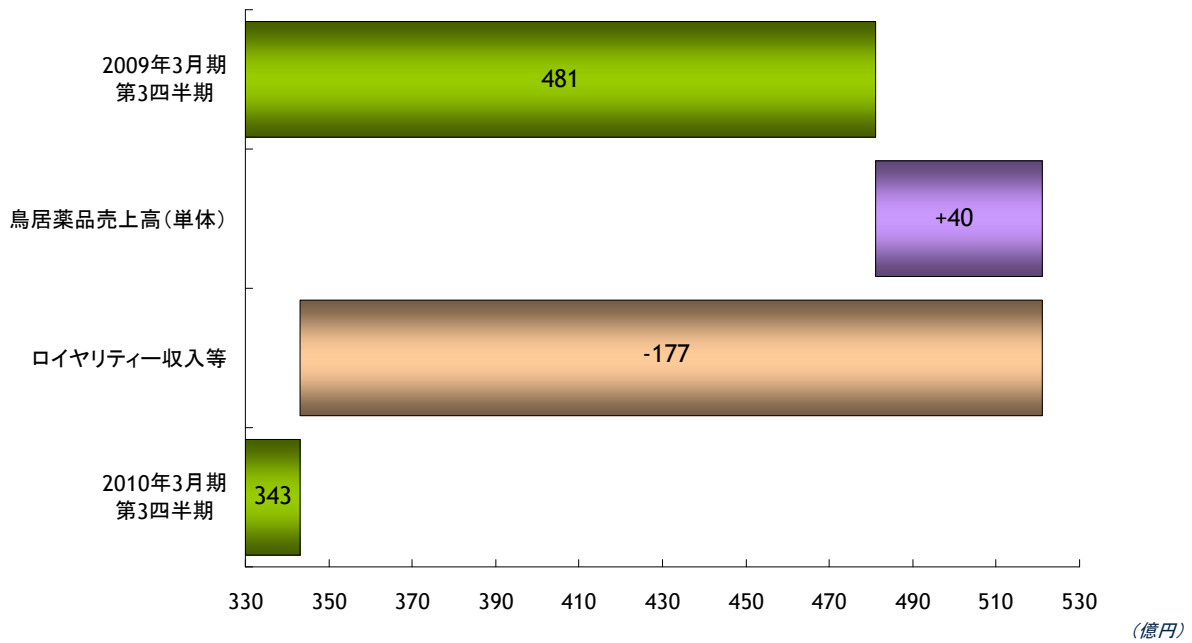
* USドルと各現地通貨との間の為替影響

28



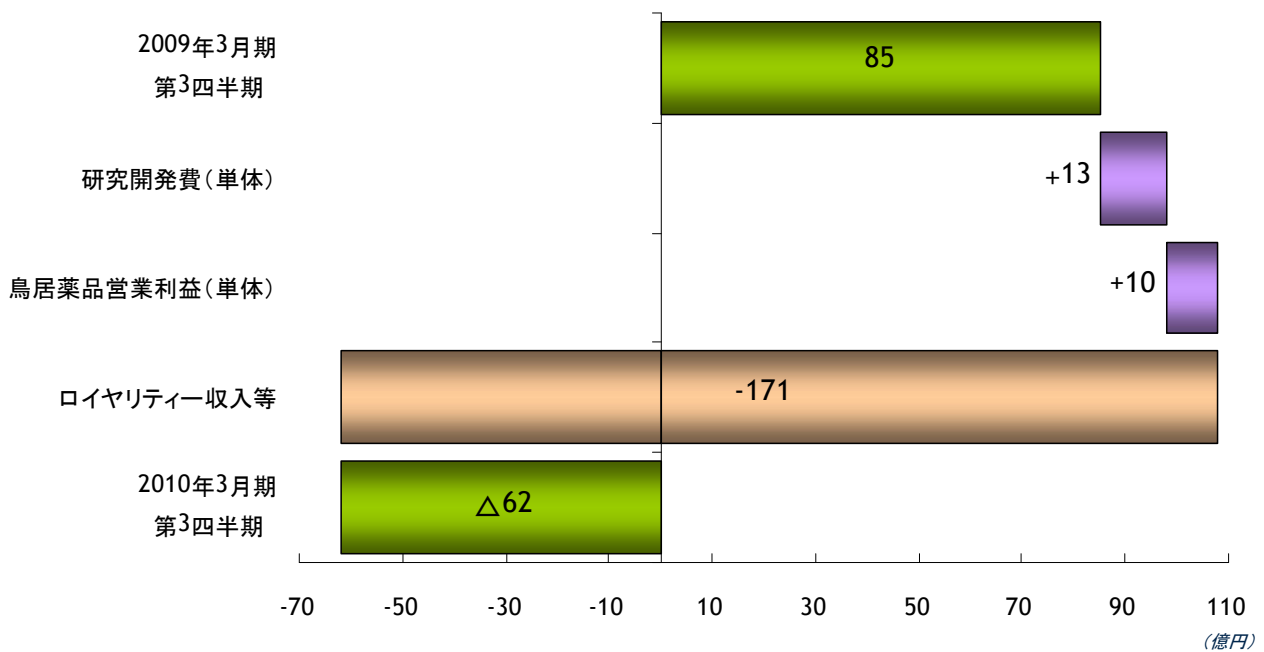
2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 医薬事業 売上高



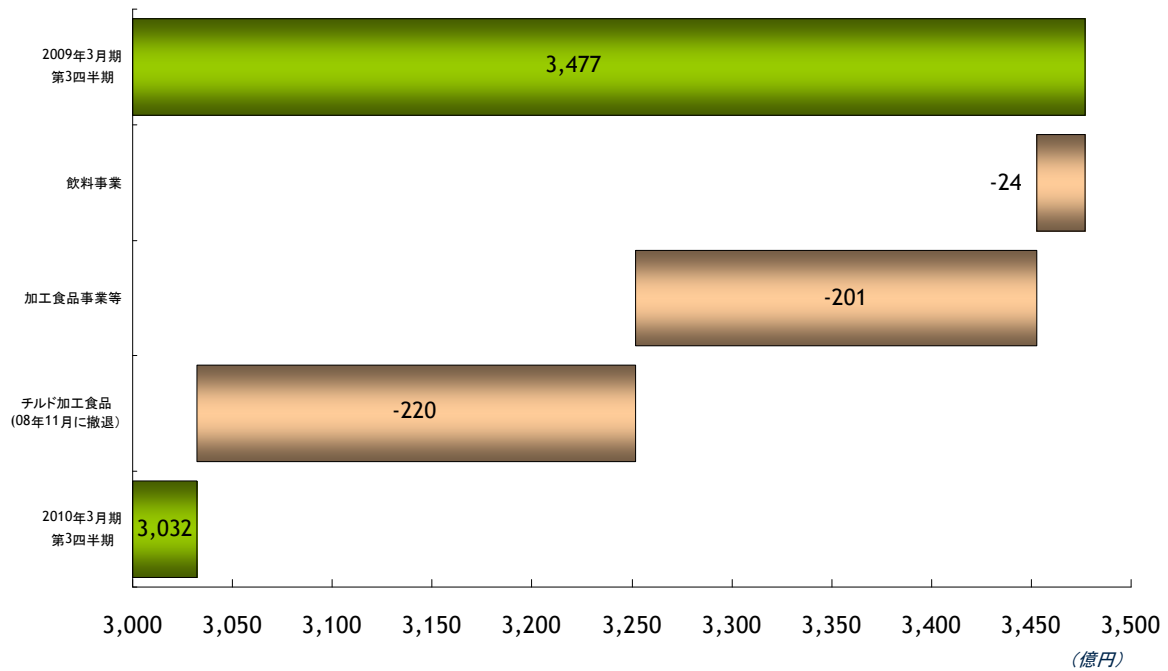
2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 医薬事業 EBITDA



2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 食品事業 売上高

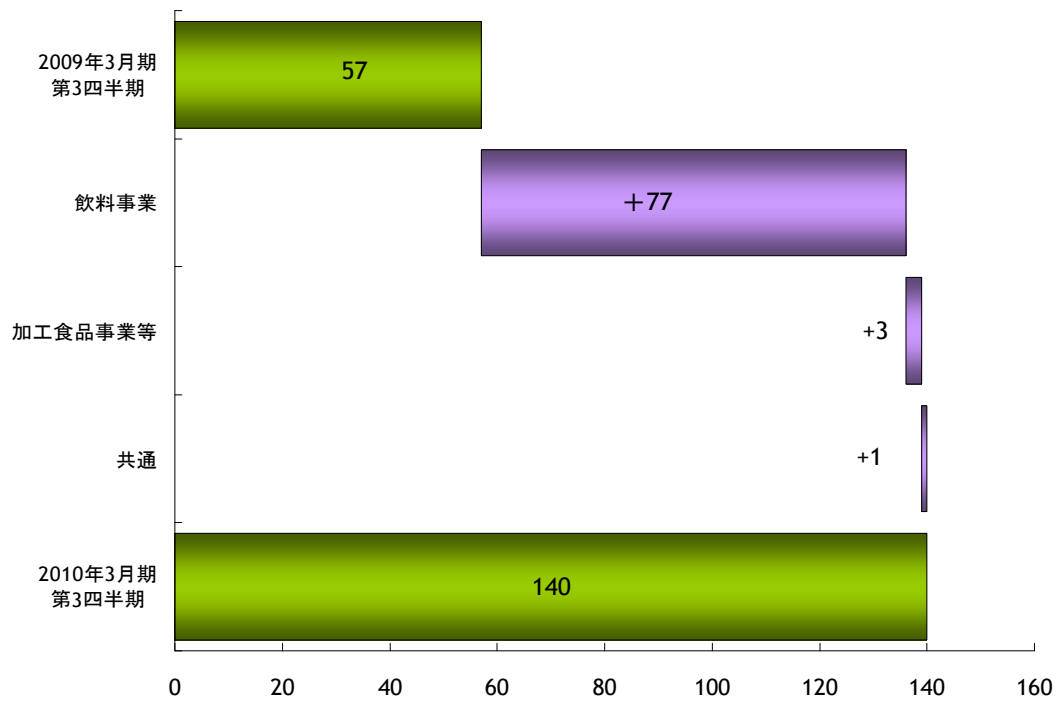


31



2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 食品事業 EBITDA

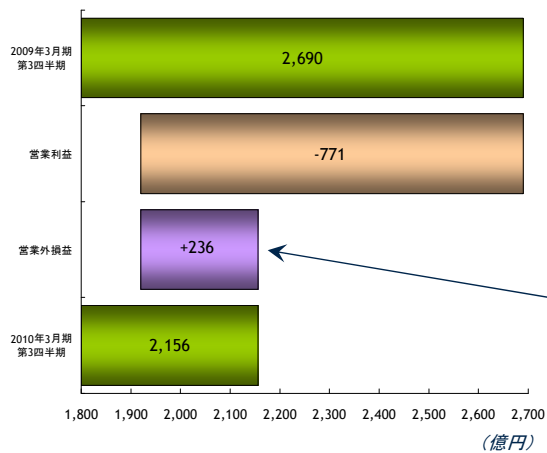


32



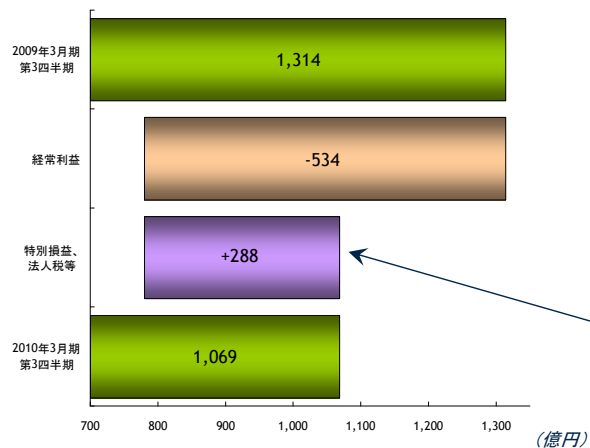
2010年3月期 第3四半期 累計実績

□ 経常利益



改善要因: 支払利息の減: 169億円
為替差損益の改善: 127億円
悪化要因: 受取利息の減: 20億円
受取配当金の減: 2億円 等

□ 当期純利益

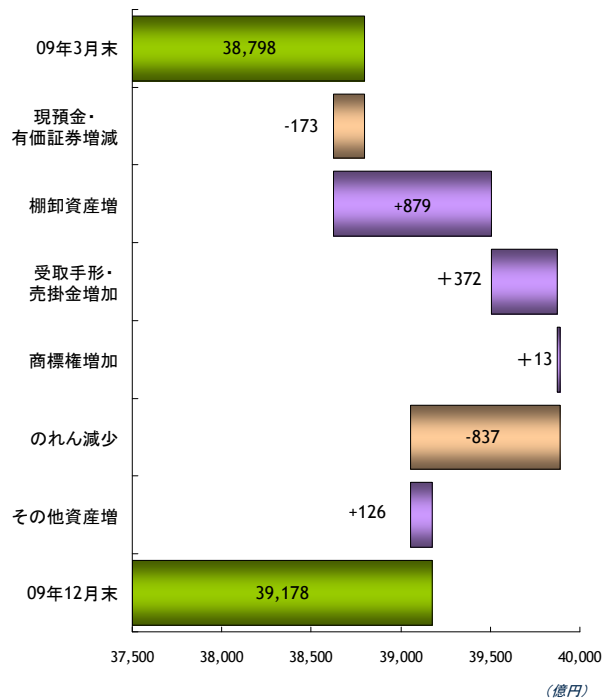


改善要因: 成人識別自動販売機導入費用の減: 129億円
事業構造強化費用の減: 128億円
減損損失の減: 92億円
固定資産除却損の減: 37億円
悪化要因: 固定資産売却益の減: 183億円 等

(このスライドは空白です)

2010年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2009年3月末・2009年12月末比較



□ 流動資産: +1,541億円

【棚卸資産増加】+879億円

- 原材料及び貯蔵品増 +761億円
買付増加、在庫単価上昇
- 商品及び製品増 +223億円
海外たばこ事業の増
- 半製品減 △96億円
季節要因

【受取手形・売掛金増加】+372億円

- 年末休日影響による増加

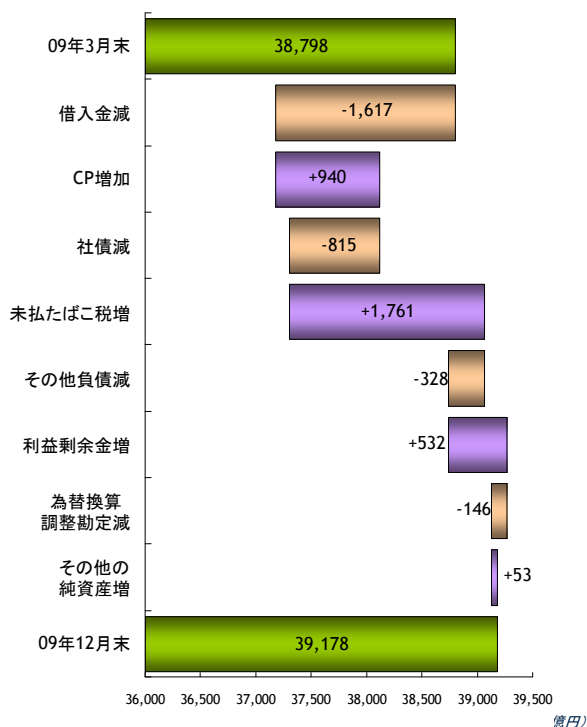
□ 固定資産△1,161億円

【のれんの減少】△837億円

- 償却および円高影響 (JTIのれんはドル建て保有)

2010年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2009年3月末・2009年12月末比較



□ 負債合計: △59億円

【借入金減】△1,617億円

- 返済および円高影響

【CP増加】+940億円

【社債減少】△815億円

- 国内債償還△1,500億円 (RJRI買収時の円資金調達分)
- 旧GLH社債償還 約△400億円 (300百万円)
- 国内債新規発行+1,000億円 (5月発行)

【未払たばこ税増】+1,761億円

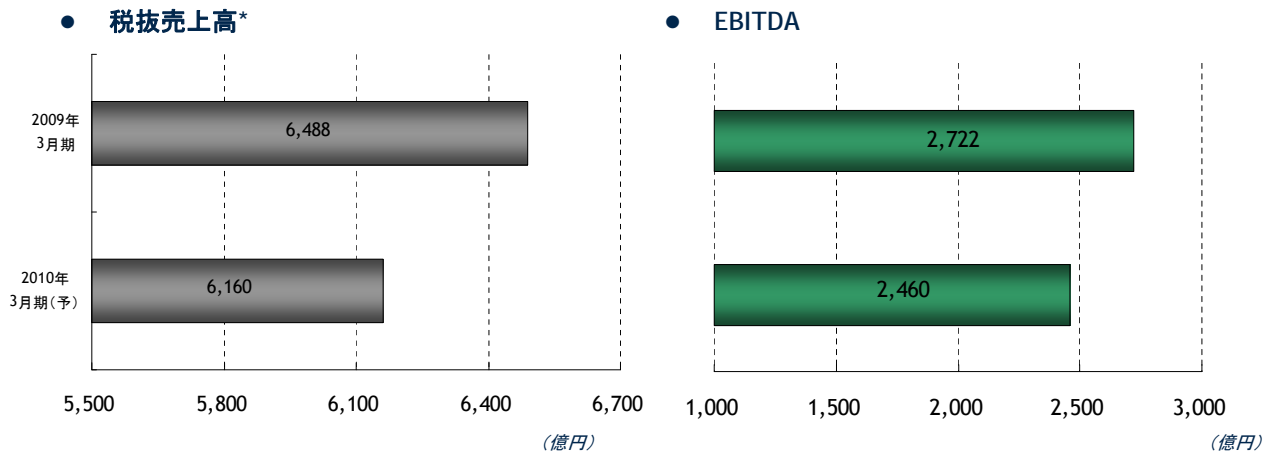
- 年末休日影響

□ 純資産合計: +440億円

【為替換算調整勘定の減少】△146億円

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 税売上高*/EBITDA



【主な減少要因】

- JT販売数量の減:
1,599億本→1,520億本(△79億本)

【主な減少要因】

- JT販売数量の減(△79億本): 約240億円
- コスト増、その他: 約20億円

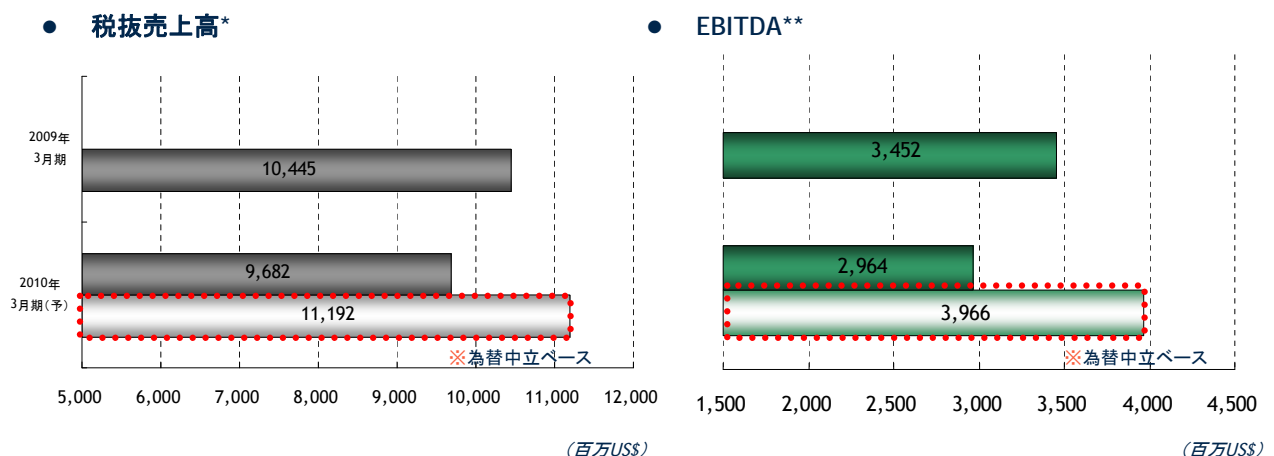
*輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

37



2010年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 税売上高* (\$ベース)/EBITDA**(\$ベース)



【主な減少要因】

- 単価上昇効果によりトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減収

(参考)

海外たばこ事業税売上高*10,808億円→9,060億円(△1,748億円減)
連結円ドルレート103.48円→93.65円(9.83円高)

【主な減少要因】

- 単価上昇効果によりトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減収

(参考)

海外たばこ事業EBITDA**3,379億円→2,490億円(△889億円減)
連結円ドルレート103.48円→93.65円(9.83円高)

*物流事業、PB、製造受託、その他を控除

**JTへのロイヤリティ支払い前

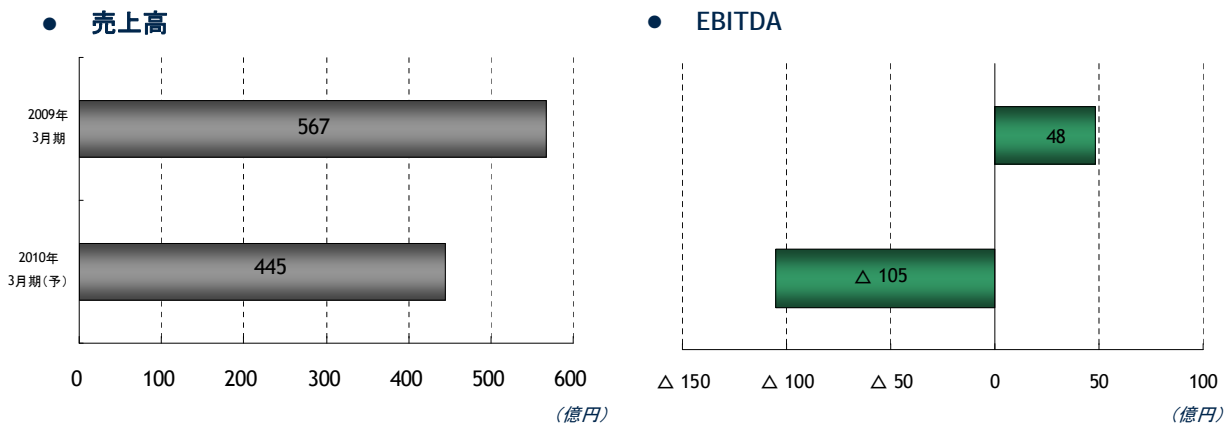
***JTへのロイヤリティ支払い後

38



2010年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の売上高: 373億円→429億円(+55億円)

【主な減少要因】

- 2009年3月期にあった一時金収入等がないことによる減収

【主な増加要因】

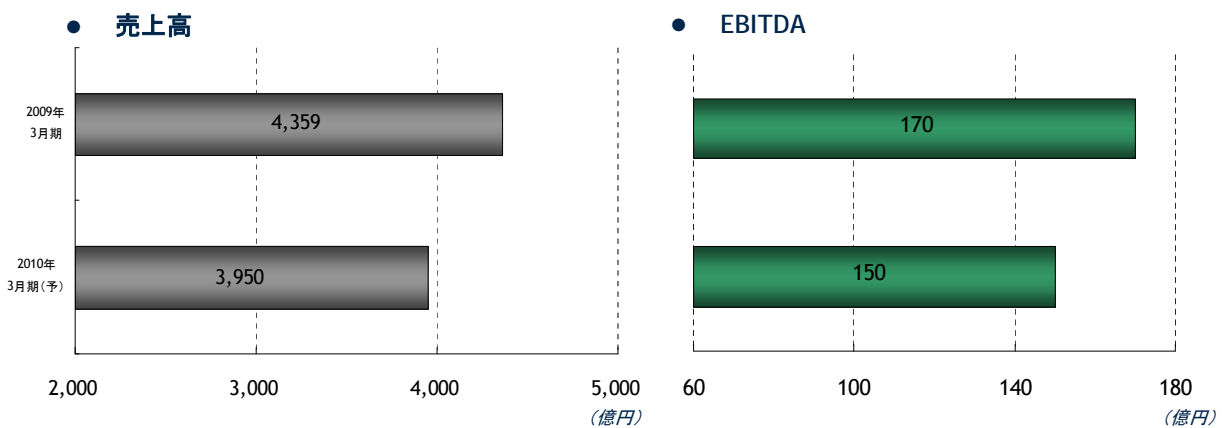
- 鳥居薬品の営業利益: 48億円→61億円(+12億円)

【主な減少要因】

- 2009年3月期にあった一時金収入等がないことによる減収

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 基幹ブランド「ルーツ」のボトル缶商品群が好調に推移

【主な減少要因】

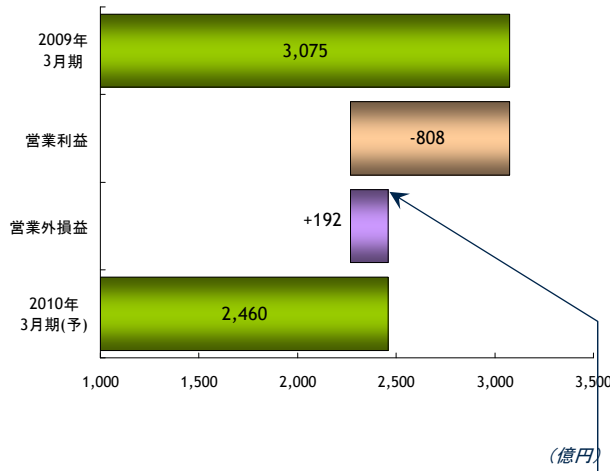
- チルド加工食品事業からの撤退
- 一部子会社を連結対象外とした影響

【主な減少要因】

- 一部市況品の急激な市場価格下落の動向を織り込む
- 売掛債権の一部について回収遅延に伴う貸倒引当を計上

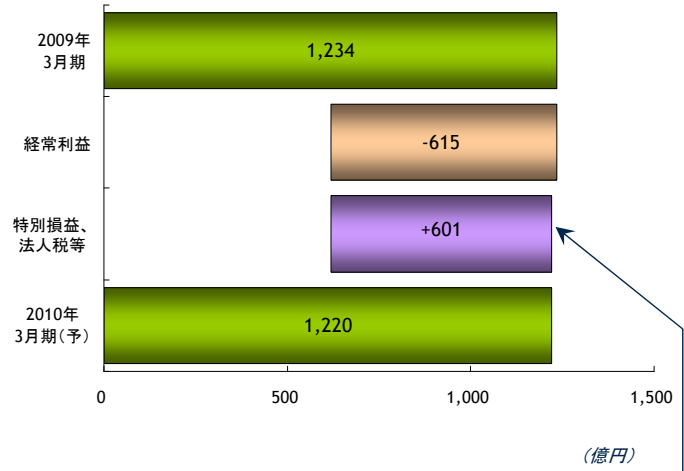
2010年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益



改善要因: 有利子負債の返済に伴う支払利息の減少 等

□ 当期純利益



改善要因: 成人識別自販機導入費用負担の減少 等

悪化要因: 固定資産売却益の減少 等

(このスライドは空白です)

2010年3月期 第3四半期 決算データ集(1)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
税込売上高	53,461	46,518	△ 6,942
税抜売上高 ^(注)	17,641	14,961	△ 2,679
EBITDA	5,413	4,257	△ 1,156
営業利益	3,296	2,525	△ 771
経常利益	2,690	2,156	△ 534
四半期純利益	1,314	1,069	△ 245

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他および海外たばこ事業における物流事業、PB、製造委託、その他を控除

(参考: のれんの償却影響を除く)

営業利益	4,101	3,269	△ 831
経常利益	3,494	2,900	△ 594
四半期純利益	2,119	1,813	△ 305

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	53,461	46,518	△ 6,942
国内たばこ事業	24,781	23,529	△ 1,251
海外たばこ事業 ^(注1)	24,569	19,465	△ 5,103
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	17,641	14,961	△ 2,679
国内たばこ事業 ^(注2)	5,017	4,764	△ 253
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	8,512	6,673	△ 1,838
医薬事業	481	343	△ 137
食品事業	3,477	3,032	△ 445
飲料事業	1,451	1,427	△ 24
加工食品事業等	2,026	1,605	△ 421
その他事業	151	147	△ 4

(注1): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国、その他を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造委託、その他を控除した実績

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業 税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	8,043	7,028	△ 1,015
--------------------------------------	-------	-------	---------

3.業たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
業たばこ評価洗替差損益	△ 31	△ 31	-

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
販売費及び一般管理費	6,835	5,981	△ 853
人件費 ^(注)	1,775	1,619	△ 156
広告宣伝費	197	147	△ 50
販売促進費	1,266	1,029	△ 236
研究開発費	353	369	16
減価償却費	660	551	△ 108
その他	2,582	2,264	△ 318

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
全社EBITDA	5,413	4,257	△ 1,156
営業利益	3,296	2,525	△ 771
減価償却費 ^(注2)	2,116	1,731	△ 385
国内たばこ事業EBITDA ^(注3)	2,132	2,051	△ 80
営業利益	1,522	1,639	117
減価償却費 ^(注2)	609	411	△ 198
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	2,973	2,029	△ 943
営業利益	1,705	973	△ 731
減価償却費 ^(注2)	1,268	1,056	△ 212
医薬事業EBITDA	85	△ 62	△ 148
営業利益	58	△ 91	△ 149
減価償却費 ^(注2)	27	29	1
食品事業EBITDA	57	140	82
営業利益	△ 78	△ 73	4
減価償却費 ^(注2)	136	214	78
その他事業EBITDA	153	100	△ 52
営業利益	73	81	7
減価償却費 ^(注2)	79	19	△ 60

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	2,950	2,354	△ 595
-------------------------------	-------	-------	-------

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

6.主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

JT	08年12月期	09年12月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	220	28	10年	'09年4月
加ト吉関連				
のれん ^(注)	69	80	5年	'12年12月

(注): 09年12月期の実績: 加ト吉子会社ののれんの一括償却を含む

(単位:百万ドル)

JTインターナショナル	08年9月期	09年9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	213	178	主に20年
のれん	680	679	20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7.資本的支出

(単位:億円)

	08年12月期	09年12月期	増減
資本的支出	850	925	74
国内たばこ事業	301	312	11
海外たばこ事業 ^(注)	367	410	43
医薬事業	22	20	△ 1
食品事業	108	177	69
その他事業	49	3	△ 46

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

8.手元流動性^(注)

(単位:億円)

	09年3月末	09年12月末	増減
手元流動性	1,698	1,525	△ 173

(注): 手元流動性=現金+有価証券+現金

9.有利子負債^(注)

(単位:億円)

	09年3月末	09年12月末	増減
有利子負債	9,960	8,445	△ 1,515

(注): 有利子負債=短期借入金+CP+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連数

【国内たばこ事業】	08年12月期	09年12月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,236	1,174	△ 62
国内総需要	1,902	1,808	△ 94
JT販売数量シェア	65.0%	65.0%	0.0%pt
JT千本当税込売上高	12,697	12,691	△ 6
JT千本当税抜売上高	4,057	4,056	△ 1

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2008年12月期31億本、2009年12月期28億本。

【海外たばこ事業】	08年9月期	09年9月期	増減
販売数量 ^(注)	3,381	3,256	△ 125
GFB販売数量	1,855	1,824	△ 31
連結円ドルレート	105.84	94.96	10.88

(注): Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	08年12月期	09年12月期	増減
研究開発費(単体)	178	165	△ 13

【食品事業-飲料事業】	09年3月末	09年12月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	254,000	257,500	3,500
うちマーキング機	32,000	32,000	0
うちコンビ機	76,500	82,000	5,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱っている、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

1. 2010年3月期連結業績予想 (前回見込比較)

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
税込売上高	60,900	61,300	400
EBITDA	5,050	5,140	90
営業利益	2,720	2,830	110
経常利益	2,350	2,460	110
当期純利益	1,080	1,220	140
ROE(株主資本利益率)	6.8%	7.6%	0.8%pt
フリーキャッシュフロー	1,690	2,120	430
(参考:のれんの償却影響を除く)			
当期純利益	2,050	2,190	140

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
資本的支出	1,620	1,500	△ 120
国内たばこ事業	590	470	△ 120
海外たばこ事業	620	640	20
医薬事業	30	30	0
食品事業	350	340	△ 10
その他事業	10	10	0

事業セグメント別業績予想 (単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
税込売上高 ^(注1)	60,900	61,300	400
国内たばこ事業	30,480	30,400	△ 80
海外たばこ事業 ^(注1)	25,770	26,330	560
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	19,740	19,820	80
国内たばこ事業	6,190	6,160	△ 30
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	8,820	9,060	240
医薬事業	440	445	5
食品事業	4,090	3,950	△ 140
EBITDA	5,050	5,140	90
国内たばこ事業	2,460	2,460	0
海外たばこ事業	2,400	2,490	90
医薬事業	△ 110	△ 105	5
食品事業	155	150	△ 5
営業利益	2,720	2,830	110
国内たばこ事業	1,900	1,910	10
海外たばこ事業	1,000	1,090	90
医薬事業	△ 150	△ 145	5
食品事業	△ 125	△ 130	△ 5
減価償却費	2,330	2,310	△ 20
国内たばこ事業	560	550	△ 10
海外たばこ事業	1,400	1,400	0
医薬事業	40	40	0
食品事業	280	280	0

(参考) (単位:百万ドル)

海外たばこ事業	9,480	9,682	202
税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	2,880	2,964	84

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績
(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除
(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減
販売数量	1,525	1,520	△ 5

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億円、円)

	前回見込	今回見込	増減
販売数量	4,320	4,349	29
GFB販売数量	2,420	2,434	14
円/USドルレート	93.00	93.65	0.65

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	08年12月期 実績	09年12月期 今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	910	903	20年

(注): のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業 (単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数
加ト吉関連	92	102	5年

(注): のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期は加ト吉子会社の一括償却10億円を含む (注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2. 2010年3月期連結業績予想 (前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	68,323	61,300	△ 7,023
EBITDA	6,462	5,140	△ 1,322
営業利益	3,638	2,830	△ 808
経常利益	3,075	2,460	△ 615
当期純利益	1,234	1,220	△ 14
ROE(株主資本利益率)	6.8%	7.6%	0.8%pt
フリーキャッシュフロー	2,401	2,120	△ 281
(参考:のれんの償却影響を除く)			
当期純利益	2,289	2,190	△ 99
EPS(円)	23,894.55	22,859.91	△ 1,034.64
1株当たり配当金(円)	5,400	5,600	200
配当性向	22.6%	24.5%	1.9%pt

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,342	1,500	157
国内たばこ事業	465	470	4
海外たばこ事業	597	640	42
医薬事業	34	30	△ 4
食品事業	232	340	107
その他事業	11	10	△ 1

事業セグメント別業績予想 (単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高 ^(注1)	68,323	61,300	△ 7,023
国内たばこ事業	32,004	30,400	△ 1,604
海外たばこ事業 ^(注1)	31,183	26,330	△ 4,853
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	22,432	19,820	△ 2,612
国内たばこ事業	6,488	6,160	△ 328
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	10,808	9,060	△ 1,748
医薬事業	567	445	△ 122
食品事業	4,359	3,950	△ 409
EBITDA	6,462	5,140	△ 1,322
国内たばこ事業	2,722	2,460	△ 262
海外たばこ事業	3,379	2,490	△ 889
医薬事業	48	△ 105	△ 153
食品事業	170	150	△ 20
営業利益	3,638	2,830	△ 808
国内たばこ事業	1,882	1,910	27
海外たばこ事業	1,747	1,090	△ 657
医薬事業	10	△ 145	△ 155
食品事業	△ 114	△ 130	△ 15
減価償却費	2,824	2,310	△ 514
国内たばこ事業	840	550	△ 290
海外たばこ事業	1,631	1,400	△ 231
医薬事業	38	40	1
食品事業	284	280	△ 4

(参考) (単位:百万ドル)

海外たばこ事業	10,445	9,682	△ 762
税抜売上高 ^{(注1)(注3)}			
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	3,452	2,964	△ 487

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績
(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除
(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,599	1,520	△ 79

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億円、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	4,459	4,349	△ 110
GFB販売数量	2,455	2,434	△ 21
円/USドルレート	103.48	93.65	△ 9.83

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件の商標権償却費

(単位:億円)

JT	09年3月期 実績	10年3月期 今回見込	償却年数
旧RJRI関連	294	24	10年

(注): 商標権の償却終了は、'09年4月

JTインターナショナル (単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	273	240	主に20年

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395	388		

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891	5,785		

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689	12,691		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055	4,057		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8	65.0		

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8	15.2		

②1mg市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	22.4	22.3	22.5	23.0	22.5
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8	24.1		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	61.9
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2	63.0		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9	8.0		

②メンソール市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	20.7	21.4	21.2	21.8	21.3
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2	23.0		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.6
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2	34.7		

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0	5.2		

②320円以上市場シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.7	23.7	24.1	24.0	23.9
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8	24.1		

③セグメント内シェア (単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	22.5
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0	21.4		

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66	5.25		

* ピアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目 (2010年2月9日現在)

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内: Phase2 海外: Phase2	脂質異常症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内: Phase2	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内: Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1 (パノイド受容体1) 阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内: Phase1 海外: Phase2	2型糖尿病	HSD-1 (11βヒドロキシステロイド脱水素酵素) 阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内: Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出 (島居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	海外: Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	

前回 (2009年10月29日) 公表時からの変更点:
JTK-853の海外臨床入り